

幸田町

所属議員

田境 毅

全トヨタ労連 30期(前)統一テーマ 経過報告シート 西久保グループ

活動期間：2021年10月～12月

産業目線

【活動選定項目】	①カーボンニュートラル(CN)への対応	
具体的取り組み項目	次世代自動車の普及促進 ・令和4年策定予定の「第2期幸田町環境基本計画」へカーボンニュートラル実現に向けた具体的項目および数値目標を反映する	
前回まで 活動状況	・愛知県が推進する計画に対する町の取り組みを中心に、町のカーボンニュートラルに対する考え方や実態と課題など共有し確認など	
今回 具体的活動	主な取り組み（一般質問、町主管部署への働きかけ） ○公用車や公共バスの水素車導入 ・第2期町環境基本計画により次世代自動車に <u>順次更新していく</u> （企画部長） ○民間企業への導入助成制度創設 ・国や県も考えており、町は考えていない（企画部長） ○燃料電池車を不自由なく使用できる環境整備の取り組み ・水素ステーション設置目標は最低1基。課題は高額な整備費・運営費（環境経済部長） ○町民に対する次世代自動車の普及啓発活動、取り組みの実施時期 ・本町の次世代自動車購入補助制度を含め、 <u>早急に周知する</u> （企画部長） ○急速充電装置の設置や充電設備の促進 ・国の導入補助制度の活用を促す。 <u>関連機器（V2H）の導入補助を検討中</u> （環境経済部長） ○公用車や公共バスの電動化促進 ・第2期町環境基本計画により <u>電動化を検討したい</u> （企画部長） ○小型電動車の取り組み ・全国の先進事例など研究したい（企画部長） ○子どもの移動手段確保 ・ <u>デマンド型乗り合いタクシー「チョイソコこうた」の利用対象年齢見直しを検討</u> （企画部長） など ○管内視察による現状把握と課題抽出（福祉産業建設委員会にて働きかけ） 計画ではごみの減量による地球温暖化ガス排出量削減を軸足に環境基本計画は推進されている。 ・再資源化によって製造した製品を、一般へも広く活用される環境づくりを提案 など ・再資源化による廃棄物削減を進め、製品利活用の促進は今後も研究する。（環境課長）	【図や活動の様子が分かる写真など】 [議会等での働きかけ]  [現地調査・視察]  民間水素ステーション  民間充電施設  環境関連管内施設 <一般質問答弁>  企画部長  環境経済部長 先進地の取り組み 次世代自動車へ 目標最低1基
今後の活動	・町職員に対する正しい知識の周知および、町議会の意識啓発と情報共有。町既存媒体を活用した町民への発信。 ・必要に応じ、県や関係団体への対策要望などの情報共有支援を継続する。	